

# 第1学年 国語科学習指導案

日時 平成26年10月10日(金)5校時

場所 1年2組 教室

学級 男19名 女15名 計34名

指導者 福田 真実子

## 1 単元名 くらべてよもう (読むこと)

学習材名 「じどう車くらべ」 (光村図書)

補助学習材名 「はたらく自動車ずかん」(成美堂出版)、「3さいからののはたらくくるま」(ひかりのくに) 他

## 2 単元について

### (1) 児童について

本学級の児童は、国語への興味、関心をもって学習する子が多く、言葉遊びや詩の暗唱に意欲的に取り組んでいる。

入学して初めて出会った説明文「くちばし」では、挿絵と文章を結びつけながら、説明されていることの大体を読むことと、説明文の基本的な文章構成である「問い」「答え」を学んだ。課題に対する答えの文を見つけるために、繰り返し音読したり、サイドラインを引いたり、大事な言葉や文を書き抜いたりする活動を行ってきて、事柄の順序を考えながら読むことができるようになってきた。しかし、文として読むことが十分ではなく内容をつかみきれない児童や、言葉一つ一つをしっかりとおさえられない児童がいる。「くちばし」のかたちとその理由について教科書から探し出し、ワークシートに書くことは、ほとんどの児童ができるようになってきた。そして、教科書に出てくる鳥について、くちばしの形と働きを考えてくちばしクイズを作ることもできたが、はたらきをどのように書くかが難しい児童もいる。

また、家庭学習で毎日音読に取り組み、言葉のまとまりを意識して文を読めるようになってきた。反面まだ、語や文の意味まで考えられずに読んでいる児童が数名いる。

読書については、年間100冊を読むことを目標に取り組み、すでにクラスの半数は目標を達成している。朝読書や家庭学習を通して、本に興味を示す児童が増え、絵本の読み聞かせが大好きで興味をもって聞くことができる。しかし、「くちばし」の学習では、図鑑を教室に置き、いつでも自由に見ることができるようしておいたが、写真をみるだけで、説明されている文章の部分を読んでいた児童は、少数であった。

### (2) 学習材について

本学習材は、子ども達の身近にある自動車を題材として取り上げた説明文である。説明の仕方は、「話題・問題提示→問題に対する説明」という文章構成になっていて、第1段落で話題と問題提示、第2～4段落では3種類の自動車の「しごと」と「つくり」を同じ順序で繰り返し説明されている。そのため、子どもたちが大事な言葉や文を書きぬきながら、説明されている内容の大体をとらえる力を養うのに適した教材であるといえる。また、3種類の自動車を比べながら読んできた子どもたちが、ほかの自動車について調べて書くことも呼びかける内容になっている。児童は並行読書で読んできた本や図鑑から好きな自動車についての「じどう車図鑑」を意欲をもって取り組むことができると考える。

本学習材は、児童に説明文を読むことの楽しさを味わわせるとともに自分でも図鑑や本を調べたり表現したりする学習活動に適した学習材であると思われる。

### (3) 指導にあたって

本単元では、いろいろな自動車について書かれた文章を楽しみながら読むことを通して、自分の力でその「しごと」や「しくみ」をみつけたり自分の表現に生かしたりできるようにしたいと考える。そのために、

自動車の「しごと」や「つくり」を比べて読み、「じどう車図鑑をつくろう」という言語活動を設定する。

第1次では、自分の知っている自動車について話したり、様々な自動車の写真、DVDを見て見付けたことを交流したりし、意欲的に学習に取り組めるようにするとともに、作った「じどう車図鑑」を他のクラスの人と交流しようという目的意識をもって、学習計画をたてさせたい。また、自動車の「しごと」と「つくり」についてわかる本や図鑑を準備し並行読書ができるようにしたい。第2次では、自動車の「しごと」と「つくり」に色分けしたサイドラインを引くことにより、説明文の構成や文型に慣れるようにしたいと考える。その際、主語と述語のつながりにも目を向けさせ「はしご車」や自分の選んだじどう車の図鑑を書くときに生かせるようにしたいと考える。叙述を挿絵と結びつけたり動作化をしたりすることにより、事柄をイメージしやすいようにしたい。また、児童が文章の構造を理解したり、情報を整理したりするために、「バスや乗用車」「トラック」「クレーン車」の3つを比べ、どれも同じ構造になっていることに気付かせたいと考える。そのために、3種類を並べて掲示したりするなど、視覚的にはっきりとわかるようにしたい。第3次では、紹介したい乗り物について「しごと」と「つくり」がわかるじどう車図鑑を書く学習をする。文章の構成（しごと、つくり①、つくり②）を提示し、つなぎことば「そのために」を入れて書くことを意識させて取り組ませたい。習得した文章構成で表現することで、読み手に分かりやすい文章にしてじどう車図鑑を書くことができると考える。作った図鑑は他のクラスと交換して読み合い、上手に書いている点や改善点などの意見を交流させたい。

### 3 単元の指導目標と評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	じどう車図鑑を作ることに意欲をもち、本を選んで楽しんで読書しようとしている。	いろいろな自動車に興味をもち、教材文や図鑑を進んで読んだり、調べて書いたりしようとしている。
読む能力	3種類の自動車について「しごと」とそのための「つくり」を考えながら内容の大体を読むことができる。	3種類の自動車について「しごと」とそのための「つくり」を考えながら内容の大体を読んでいる。
言語についての知識・理解・技能	片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。	片仮名で書く語を読んだり書いたりしている。

#### 4 単元の「まなびのプロセス」の構想（全10時間）

##### 【指導過程】

##### 【問題解決の流れ】と【主な学習活動】

###### 第1次（2時間）

単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。

【関心・意欲・態度】

###### 【主な学習活動】

- ① 自動車の写真やDVDをみて、自分の知っている自動車について発表する。
  - ・自分の知っている自動車について知らせたり、自動車のどんなことを比べているのか考えたりする。
- ② じどう車はかせになって、じどう車図鑑を作り、他の組の人に紹介しようという学習に取り組むことを知らせ、学習の見通しをもつ。
  - ・全文を音読し、内容の大体をつかむ。

写真と文章を対応させながら内容の大体を読もう。

- ①じどう車には、いろいろなしごとがあるんだね。
- ②いろいろなしごとをするために、どんなつくりになっているのだろう。

###### 第2次（4時間）

それぞれのじどう車の「しごと」と「つくり」をとらえる。

【読む能力】

【言語についての知識・理解・技能】

###### 【主な学習活動】

- ③バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を読む。
  - ・バスについての図鑑も調べてみよう。
- ④トラックの「しごと」と「つくり」を読む。
  - ・トラックについての図鑑も調べてみよう。
- ⑤・クレーン車の「しごと」と「つくり」を読む。
  - ・バスや乗用車、トラック、クレーン車の構成の共通しているところを見つける。
  - ・クレーン車についての図鑑も調べてみよう。【本時】
- ⑥はしご車の「しごと」に合わせた「つくり」の文章を考える。
  - ・はしご車についての図鑑も調べてみよう。

他のじどう車について調べてみよう。

- ①自分で選んだじどう車について調べ図鑑を作ろう。
- ②友達にも図鑑も読んでほしいな。他の組で作ったものと交流してみよう。

###### 第3次（4時間）

自分の選んだじどう車の「しごと」と「つくり」を調べて書き、完成した図鑑を友達と交換して読み合う。

【読む能力】

###### 【主な学習活動】

- ⑦⑧⑨・他の自動車について「しごと」と「つくり」を関連させて書き、「じどう車図鑑」にまとめる。
- ⑩・完成したじどう車図鑑を交換して読み、感想を交流する。
  - ・単元の振り返りをする。

- ① 図鑑を交換して読み合おう。
- ② 自分の作った図鑑を友達に読んでもらおう。友だちのも読んでみよう。
- ③ 友達のじどう車図鑑を読んだら、いろいろな車の仕事とつくりがわかったよ。

◆自動車について書かれた本や図鑑を読む。  
◆「しごと」「つくり」の文型を用いてじどう車図鑑をつくる。

## 5 本時の指導（5／10）

### （1）目標

- クレーン車について、「しごと」と「つくり」を考えながら、内容をとらえることができる。

### （2）展開

段階	学習活動	学習内容	教師の支援と評価
つかむ 5分	1 本時の学習課題を確認する。  かだい クレーン車のしごととつくりをしらべよ		<p>★手立て2（対話）手立て3（「課題設定」と「評価活動」）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を想起し、学習の流れを確認する。</li> <li>★「しごと」と「つくり」を読むことを確認し、読みの視点が明確になるようにする。</li> </ul>
学び合う ふかめる 25分	<p>2 学習場面の内容を読み取る。</p> <p>（1）学習場面を音読する。</p> <p>（2）「しごと」について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しごと」について分かる文に赤線をひく。</li> <li>・しごとについてワークシートに書く。</li> </ul> <p>（3）「つくり」について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つくり」について分かる文に青線を引く。</li> <li>・ワークシートに「つくり」を書く。</li> </ul> <p>（4）絵と文を照応させながら、クレーン車の「しごと」とそのための「つくり」のを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「じょうぶなうでがのびたりうごいたり」や「車たいがかたむかないように、しっかりしたあし」をペアで考えを出し合いながら、動作化する。</li> </ul> <p>（5）学習のまとめをする。</p>	<p>○クレーン車の仕事 「おもいものをつりあげるしごとをしています。」</p> <p>○主語と述語</p> <p>○クレーン車のつくり 「じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするように」 「車たいがかたむかないように、しっかりしたあし」</p> <p>○「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉 「そのために」</p>	<p>・一斉読み、段落読みなど様々に変えながら繰り返し音読させる。</p> <p>★ワークシートを活用し、書くことによって、「しごと」と「つくり」の読みの理解が深まるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵と文を照応させたり、動作化させたりして、叙述に即した確かな読みができるようにする。</li> <li>・「車たい」「うで」「あし」などの言葉と挿絵を線でつなぐようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈評価〉 クレーン車の「しごと」と「つくり」を読むことができる。【読むこと】 〈評価方法〉観察・ワークシート</p> </div>

ひろ げ る	3 クレーン車について書いてある図鑑を見て、「しごと」と「つくり」を見つける。	★クレーン車について書かれてある図鑑を読んで「しごと」と「つくり」見つけて付箋を張り,ジャンプの課題を解決する。
	ずかんから、クレーン車のしごととつくりを見つけよう。	
1 5 分	4 クレーン車とバスや乗用車,トラックの仕事とつくりを比べる。 5 学習をふり返る。 (1) 学習してわかったことがんばったことをふり返る。 (2) 次時の学習を知る。	・前時までの表と比べて考えさせる。 ★クレーン車の「しごと」と「つくり」について詳しく読むことができ,自分が調べたり見たりしたことを友達に伝えることができたことを共感的に受け止め,価値付ける。

(3) 板書

車たいがかたむかないように、  
しっかりしたあしが、ついています。

じょうぶなうでが、  
のびたりうごいたりするように、  
つくってあります。

つくり

クレーン車は、おもいもの  
をつりあげるしごとをしています。

しごと

クレーン車の  
絵

クレーン車は、どんなしごとをしていますか。  
そのために、どんなつくりになっていますか。

くらべてよもう  
じどう車くじょう

かだい